

建設系 CPD 協議会について

東京工業大学 フェロー会員 ○池田 駿介

1. 建設系における CPD の重要性

技術士法の改正により、技術士は継続的能力開発が責務となった。また、APEC エンジニアの枠組みがスタートし、CPD が必須となった。建設分野は技術士の約半数を占め、また APEC エンジニアはすでに 2000 人を超えている。建設系の各学協会では、このことからそれぞれ独自に CPD の取り組みを開始したが、CPD の枠組みを構成する、

- ①CPD プログラムの提供
- ②CPD 単位の記録・登録
- ③CPD の証明

などのシステムが各学協会ですべてに設定されはじめ、これらを相互に互換性があるシステムとすることが喫緊の課題となった。また、CPD を実施する技術者からも利便性を考えて各学協会の連携方策を考えて欲しいとの要望が多く寄せられた。また、土木学会技術者資格では CPD が更新のための必須条件とされている。

2. 建設系 CPD 協議会の発足

このような要望を受けて、平成 15 年 7 月に 11 学協会が参加して建設系 CPD 協議会が発足した。その主な協議事項は、CPD プログラムの相互承認、プログラムの開示方法、単位の記録・登録の方法、単位の証明方法、協議会の運営方法などである。11 学協会がカバーする科学者・技術者数は 28 万人に及ぶ。

3. 現在の状況

現在までに上記の事項について、ほぼ合意に達し、本年度から先ず CPD プログラム情報を開示し、共通のサーバーを設置して各学協会の会員が提供されているプログラムを閲覧できるシステムを開始する。また、各学協会では、原則として会員証をかねた磁気カードを発行することとし、CPD のデータをやりとりできるようにすることで合意している。

設系 CPD 協議会について		主な活動内容	
【目的】 建設系分野に係わる技術者の能力の維持・向上を支援するため、関係学会および協会間での CPD（継続教育）の推進に係わる連絡や調整を図る。 【設立および構成】 平成 15 年 7 月 25 日（金） 空気調和・衛生工学会、建設コンサルタンツ協会、地盤工学会、全国土木施工管理技士会連合会、土木学会、日本コンクリート工学会、日本技術士会、日本建築学会、日本造園学会、日本都市計画学会、農業土木学会（11 学協会、あいうえお順） 【専門部会】 1. ルール検討部会のミッション 建設系 CPD 協議会として緩やかな協体制づくりを旨に、継続教育に取り組む技術者の利便性向上を図るために、会員間での CPD 推進に係わるルールを作る。 2. システム検討部会のミッション 建設系 CPD 協議会として緩やかな協体制づくりを旨に、継続教育に取り組む技術者の利便性向上を図るために、ルール検討部会と連携して、CPD システムの計画、立案、実施および分析を行い、会員間での CPD 推進に係わる登録と情報提供のシステムを作る。 【開催状況】 ・建設系 CPD 協議会：8 回、ルール検討部会：2 回、システム検討部会：13 回	プログラムの相互認定・表示	CPD プログラムの認定基準の策定	・ 会員内での CPD プログラムの認定基準をどうするか？ ・ 認定基準として必要な項目は？ ・ 会員間で相互認定するためにはどのような手続きが必要か？ ・ 協議会が認定したプログラムの表示方法は？ ・ プログラムの過不足の判断をどうするか？ ・ 会員内でのプログラムの拡充方法は？ ・ 建設系 CPD 協議会の認定済であることをどのように明示するか？
		CPD プログラムの相互認定ルールの策定	
		認定プログラムの表示方法の検討 CPD プログラムの補完方法の検討	
		CPD プログラムの協議会認定済の表示方法	
		CPD プログラム情報の開示方法の検討	・ 会員間でプログラム情報をどのように閲覧、申し込みができるか？ ・ 会員間を通じて利用できるプログラム検索エンジンなどをどのようにするか？ ・ 日本工学会のアンケートをどのように追加実施するか？
		（その他） 会員の CPD 実施状況を調査	
		参加記録の相互認定ルールの策定	・ CPD 記録の共有情報項目は？ ・ CPD 単位の基本的な考え方は？
		CPD 単位の記録・登録方法の検討	・ 記録入力の方法、書式はどのようにするか？ ・ CPD 記録情報の蓄積をどのようにするか？ ・ 会員間で記録情報をどのように受け渡すか？
		取得 CPD 単位の証明方法の検討	・ 単位の取得証明はどのようにするか？ ・ 会員内で取得した CPD 単位の証明は？
		取得 CPD 単位の相互利用方法の検討	・ 複数の会員の CPD 記録をどう合算するか？ ・ どのような形で証明するか？
	CPD 単位の相互利用	取得 CPD 単位の連携方法の検討	・ 会員内で取得した CPD 単位をどのように取り扱うか？（例：資格更新の際のエビデンス）

キーワード CPD、プログラム情報提供、技術者資格

連絡先 〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1 東京工業大学 大学院理工学研究科 土木工学専攻 TEL03-5734-2588

この CPD プログラムでは、プログラムの目標、レベル、教育分野、形態（講義、講演、演習など）、CPD 単位、料金、詳細情報掲載先 HP の URL などが記載される。11 学協会が提供している年間当たり CPD プログラム提供総数は約 2200 である。

4. 専門部会の設置

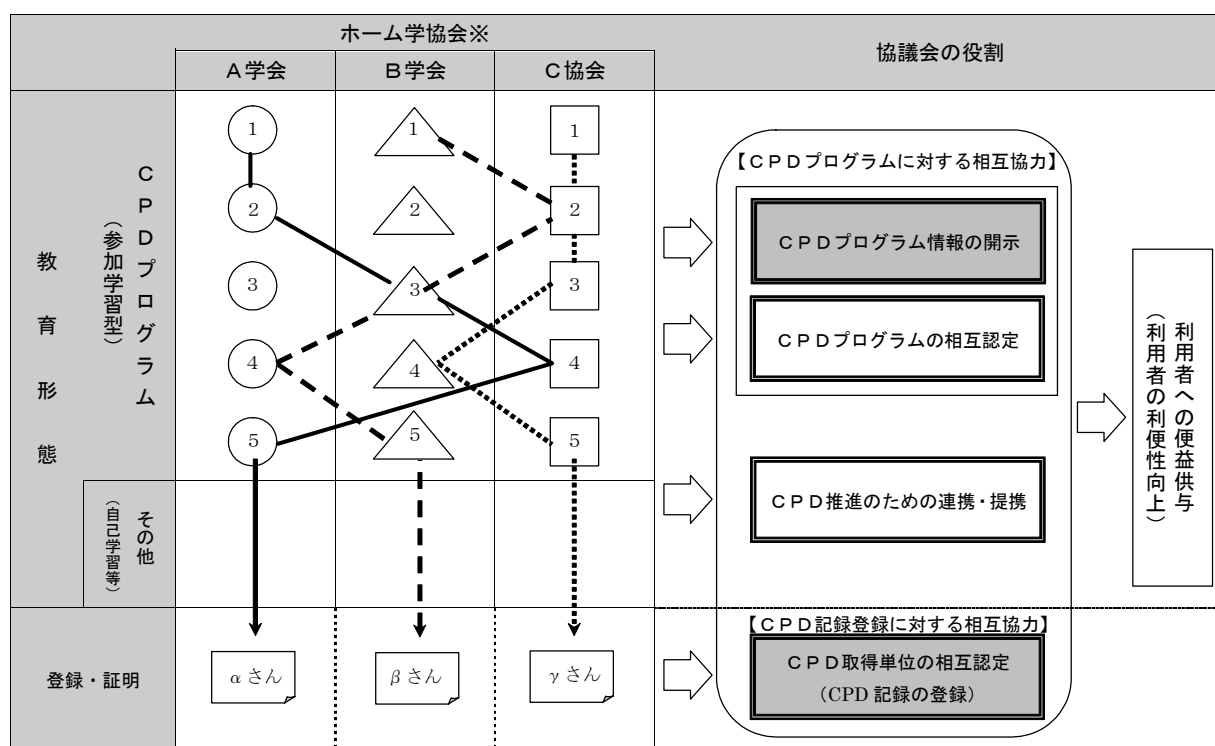
上記の目的を達成するために、ルール部会、システム部会が設置されている。ルール部会は、建設系 CPD 協議会として緩やかな協力体制を旨に、継続教育に取り組む技術者の利便性向上を図るために会員間での CPD 推進に関わるルール作りを行い、システム部会では、CPD システムの計画、立案、実施および分析を行い、登録と情報提供のシステム作りを行うこととなっている。

5. 活用の状況

入札時優遇措置：九州地方整備局、その他 2，3 の県で、公募型・工事希望指名競争入札時に土木学会、地盤工学会、全国施工管理技士会（いずれも本協議会会員）の CPD 取得者の優遇措置が取られている。

工事实績情報サービス：建設情報センター（JACIC）が技術者工事経歴検索システム（CORINS）を提供しているが、本年 4 月からこれに「技術者工事経歴検索システム」の機能が加わり、登録項目に建設系 CPD 協議会の CPD 記録が追加されることになった。

建設系 CPD 協議会の役割



※ CPD に取り組む技術者個人は「ホーム学協会」を必ず一つ指定する。

【凡例】○：A 学会主催のプログラム、△：B 学会主催のプログラム、□：C 学会主催のプログラム

—— αさん（A 学会員）受講、- - βさん（B 学会員）受講、..... γさん（C 学会員）受講

6. 今後の方向性

日本工学会には PDE 委員会が設置され、工学系学協会が参加して CPD システムについて議論が行われている。建設系 CPD 協議会で構築されるシステムは、工学全体の CPD システムのモデルと成りえるものである。